

D X人材を育成し 産学官連携を担う拠点が完成 データ&イノベーション学群 新校舎「イノベーション ラボ棟」 落成披露式のご案内 = 永国寺キャンパス 3/28 (土) 10時~ =

2024年4月に開設したデータ&イノベーション学群の新校舎として、「イノベーション ラボ棟」が4月より稼働します。つきましては、本施設の完成を記念し、3月28日(土)10時より、落成披露式を開催いたします。

本式典の第1部では、データ&イノベーション学群の学生から案を募り、昨年12月に決定した新校舎名称「イノベーション ラボ棟」および1階フロア名称「リグルバ (RIGRUBA)」のネーミングコンペ表彰(提案学生2名)を行うほか、ご来賓を招いてのテープカットを執り行います。続く第2部では、建物のご説明や各フロアの見学ツアーを実施し、最後にはキャンパス中央芝生広場にて餅投げを行います。ご多忙の折とは存じますが、ぜひご取材賜りますようお願い申し上げます。

データ&イノベーション学群 新校舎 落成披露式

- 日時：2026年**3月28日(土)** 10:00~11:20
- 場所：高知工科大学 永国寺キャンパス イノベーション ラボ棟 1階 プレゼンコート
- 内容 <第1部> 記念式典(10:00-10:30) <第2部> (10:40-11:20)
 - 学長挨拶
 - 来賓祝辞
 - 新棟ネーミングコンペ表彰式
 - テープカット
 - 建物概要説明
 - 建物見学
 - 餅投げ



※新校舎の概要は次頁をご参照ください

ネーミングコンペでは、データ&イノベーション学群の学生から募った91案のなかから2案が採用となりました。コンセプトや提案者が込めた思いは以下のとおりです。

【建物名】 イノベーション ラボ棟

本学の学群名にも掲げられている「イノベーション」という理念を、学生が日常的に体現できる場にしたいという思いから、この名称を提案しました。

新棟を、学び・研究・企業連携が交錯し、情熱ある挑戦が次々と生まれる“実験場”として位置づけたいと考えました。ここで育つ一つの挑戦が未来を動かす革新へとつながる--その願いを込めて「イノベーション ラボ」と名付けました。

データ&イノベーション学群 2年 川上 千歩(かわかみ ちほ)さん(兵庫県立尼崎北高等学校出身)

【1階フロア名】 リグルバ(RIGRUBA)

高知のことは「こだわる、念入りにする」を意味する「りぐる」と、多様な活動の「場(バ)」を組み合わせました。

「りぐる」研究や制作に取り組み、「学ぶ・つくる・見せる」が連続するイノベーションの「場」として、学生たちの「日常」と「こだわり」が重なる拠点を表現しました。イノベーションの海へ「帆を張り(Rig)」、漕ぎ出す「場」という意味もあります。

データ&イノベーション学群 2年 遠矢 和子(とおよ わこ)さん(愛媛県立北宇和高等学校出身)

【本リリースに関するお問い合わせ】

高知工科大学 広報課 渡瀬・前田

TEL.0887-53-1080

E-mail : kouhou@ml.kochi-tech.ac.jp

※取材ご希望の場合は、**3月27日(金)の17時まで**に
広報課までお知らせください。



▲1階フロア（イメージ）

新棟の概要

建設場所：高知市永国寺町145番地

建設規模：地上5階建 S造 建築面積 1013㎡ 延床面積 4327㎡

設計・監理：内藤・杢建築事務所設計共同企業体

施工： 建築主体工事… 宮崎・三谷特定建設工事共同企業体

建築電気設備工事… 荒川電工・高知クリエイト特定建設工事共同企業体

建築機械設備工事… 高知クリエイト・関西設備特定建設工事共同企業体

総工費： 25.6億円

イノベーション ラボ棟は、データサイエンスを含む先端ICT技術を学び、有用な情報から新たな価値を創造できる文理統合型のDX人材育成・輩出の場として、産学官連携・高大連携の拠点となります。

データ&イノベーション学群における重要な教育の柱となるPBL（課題解決型学習：企業や団体等と連携し、実社会にある様々な課題の解決に取り組む実践教育）を円滑に行うために、講義から討議、そして実装までを1フロアでシームレスに作業転換ができるようなエリア設計としています。

リグルバ(RIGRUBA) と名付けられた1階は、ワークスペースやXRラボに加え、ラウンジ（カフェ）を備え、イベントやセミナーにフレキシブルに対応できるプレゼンコートを含む大空間としており、地域の方々や企業等との交流の場として、全学的に使用していきます。2階はおもに講義で使用。3・4階は研究活動（研究室）のフロア。5階には教員室が配置されます。



ワークスペース
(1階)

学生・地域・企業の情報交流、ものづくりの着想から具現化までをスムーズに行えます。



プレゼンテーションコート
(1階)

約120名が着席できる階段状のフリースペースに大型ディスプレイを常設。自由で積極的なコミュニケーションを促す場となります。



討議スペース
(2階)

課題内容を解決に導くための「聴く、実践する、まとめる、共有する」を連続的に行える協働スペースです。